

第15回 令和7年度

ちばコラボ大賞

表彰事例の紹介

県では、地域の課題解決のため、市民活動団体や地縁団体、学校・大学、企業などが連携して取り組んでいる事例の中から、他のモデルとなる優れた事例を「ちばコラボ大賞」として表彰しています。

15回目となる令和7年度は、県内各地から23事例の応募があり、審査の結果、千葉県知事賞として3事例を表彰したほか、第15回記念事業として新たに創設した特別賞として2事例を表彰しましたので御紹介します。



チーバくん

千葉県

千葉県知事賞（3事例）



表彰事例 1

みんなの図書館

—利用者から創り手へ、共に創る図書館—

活動の概要

四街道市立図書館が中心となり、地域の多様な団体や企業・大学等と連携し、図書館を「本を借りる場所」から世代や立場を越えて人がつながる共創の場へと再構築。子育て支援や健康づくりなど多彩な活動を通じ、地域の課題解決と新たな公共空間の創出を目指す取組です。

評価のポイント

- 「図書館は本を借りる場所」という固定観念を変えようという試みがチャレンジングで面白い。
- 図書館のルールを守りながらコラボにより新たな価値を創出する素晴らしい取組であり、公立図書館の新たなあり方を示した。

実施団体

四街道市立図書館、岩瀬薬品株式会社、図書館サポーターズ、一般社団法人よつかいどう野外保育さとのたね、千葉大学予防医学センター、日替わりcafeりんごの樹、蔵の図書館、四街道市地域包括支援センター、特定非営利活動法人地域の医療を明るくする会、特定非営利活動法人四街道プレーパークどんぐりの森、四街道市子ども会育成連合会（四街道市リーダーズクラブ）、社会福祉法人よつかいどう福祉会、特定非営利活動法人みのり福祉会 障がい者就労・生活さぽーとピース



表彰事例 2

健康まちづくりプロジェクト

～定時制高校と地元企業・行政とコーディネーターによる
佐倉の夜道をつくる試み～

活動の概要

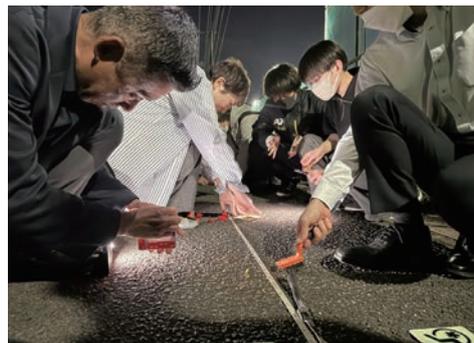
千葉県立佐倉南高等学校定時制夜間部の生徒を中心に、地域コーディネーターが橋渡しする形で、学校、地元企業、行政が連携し、「心と身体の健康」をテーマとした探究学習を実施しました。健康という切り口から夜道を楽しむための蓄光パネルの設置を通して、地域ぐるみで若者を育てる機会を創出しています。

評価のポイント

- 定時制高校の生徒の健康というテーマ、若者の声を直接行政に届けたことが素晴らしい。
- 連携・協働から生まれる各主体の喜びややりがい成果として表れており、先生、生徒の思い、企業の熱量が伝わってくる。

実施団体

一般社団法人Spice、千葉県立佐倉南高等学校、岩瀬薬品株式会社、佐倉市役所



表彰事例3

～地域×こども×若者(大学生)=可能性∞!～

てらちば地域共育・世代間交流プロジェクト

活動の概要

てらこやちばがハブとなり、地域団体、町内会、大学などと適材適所の連携で子どもの体験機会を作っています。地域コミュニティの再興と子どもの教育・体験格差の解決を目指し、田植えやキャンプ、居場所づくりなど多様な活動を通して、子ども・若者(大学生)・大人の多世代交流を生む取組です。

評価のポイント

- 15年というキャリアの中での世代循環により生じた世代間交流が素晴らしい。
- NPO、地縁団体、大学等、各団体の特性を活かした活動で持続性・発展性がある。

実施団体

てらこやちば、国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ、公益社団法人千葉青年会議所、敬愛大学・敬愛短期大学地域連携センター、千葉市中央区中央二丁目町内会、こどもカフェlealea 実行委員会



特別賞 (株式会社千葉日報社)

表彰事例

ジュニア防災リーダー養成プロジェクト

～未来に備える ミラソナ防災講座～

活動の概要

NPO、行政、大学等が連携し、小学生が自分にできる防災行動を主体的に考えられるようになるため、市内を4つの地域に分け、避難所に見立てた体育館において、「ジュニア防災リーダー養成プロジェクト」を実施。実践的な内容の講座や防災ポーチの配付を通じて、地域防災力向上のための次世代リーダー育成に取り組みました。

評価のポイント

株式会社
千葉日報社

- 共働き世帯や高齢化が進む地域の実情を踏まえ、子ども自身が防災の担い手となる力を育む先進的な取組である点が高く評価できる。
- 参加者数が目標を大きく上回り、学校や保護者からも継続を望む声が寄せられるなど、地域に根差した持続性と波及効果の高い事業として優秀である。

実施団体

流山防災まちづくりプロジェクト、流山市市民生活部防災危機管理課、江戸川大学社会学部現代社会学科 佐藤秀樹環境学ゼミナール(くらしと地球環境)、ガールスカウト地域で防災を考える会、流山市教育委員会



特別賞 (株式会社千葉銀行)

表彰事例

みらいにつなぐ里やま

～地域課題の解決に向けて～

活動の概要

NPO法人、行政、幼稚園、地域団体、メディア等が連携し、里山の環境を保全するための活動を実施。里山を舞台とした各種イベントや体験プログラムに加え、近隣の小学校・幼稚園・こども園への出前授業により里山の環境を知ってもらうことを通じて、かつての里山の営みに近い環境を取り戻すために取り組んでいます。

評価のポイント

株式会社
千葉銀行

- 「壊れていく生態系」と「喪失される体験・機会」は多くの人に共通の課題設定。環境保全に加え、幼稚園での出前授業で知識や体験を次世代につなげていく取組で地域社会のサステナビリティに貢献。



実施団体

特定非営利活動法人NPO富里のホタル、とみさと市民活動サポートセンター、のあそびくらし、特定非営利活動法人千葉自然学校、学校法人成田山教育財団はばたん幼稚園、富里国際交流協会、特定非営利活動法人子どもプラザ成田、富里市教育委員会

第15回 ちばコラボ大賞 1次審査通過事例

※表彰事例を除く

惜しくも表彰とはなりませんでしたが、とても素晴らしい活動に取り組まれている事例をご紹介します。

ふれあいの場きらりん

～歩いて通う、意識が通う、心が通う、
顔なじみから仲間へと絆につながる居場所～

活動の概要

柏市西原地域で高齢化・孤立化の課題に対応するため、特別養護老人ホームを活用したコミュニティカフェを開設。住民ボランティアを中心として多様な主体が連携し、パン販売や介護予防講座・地域住民によるワークショップ等も取り入れ、誰もが気軽に集い、社会参加ができる居場所を創出しています。



【実施団体】

ふれあいの場きらりん、社会福祉法人涼風会、学校法人錦木学園にしはら幼稚園、社会福祉法人いづみ、西原地域ふるさと協議会、柏北部第2地域包括支援センター、社会福祉法人柏市社会福祉協議会

「ふなばし海と大地のパスタ」

船橋の漁師・農家・パスタ店のコラボ実現!!

活動の概要

船橋市内の漁業・農業・飲食業をはじめとした多様な主体で構成される「ふなばしSDGsの会」を中心に、地元食材であるコノシロ、小松菜を活用した新商品「ふなばし海と大地のパスタ」を開発。地域資源の有効活用や地産地消、フードロス削減を通じ、地域経済の活性化を図っています。



【実施団体】

ふなばしSDGsの会 (20団体による協議体 :メディア関係、1次産業、2次産業、3次産業、教育、医療、学校・大学、NPO法人により構成)、船橋商工会議所



ちばコラボ大賞 第15回 記念事業

特別講演会

これまでの受賞事例を振り返り、連携による地域づくりの機運を更に高めるため、令和7年6月27日(金)に、千葉県庁中庁舎10階大会議室で特別講演会を開催しました。

当日は、木更津市観光ブルーベリー園協議会【第5回(平成27年度)受賞】及びY・Y・NOW SON【第6回(平成28年度)受賞】による事例発表、審査委員長として長年ご尽力いただいている千葉工業大学・鎌田元弘氏及び地域コーディネーターなどとして活躍されている千葉工業大学・青木秀幸氏からの講評・講演に続いて、過去にちばコラボ大賞を受賞された11団体によるブース出展、参加者との交流会を実施しました。



事例発表、講評・講演



交流会

特別賞

広く連携・協働の気運を高めることを目的として、ちばコラボ大賞の趣旨に賛同する団体(賛同パートナー)が受賞事例を選考する「ちばコラボ大賞特別賞」を創設し、賛同パートナーについては、公募を行った結果、株式会社千葉日報社及び株式会社千葉銀行に決定しました。

賛同パートナーにおいては、それぞれ受賞事例を選考の上、第15回ちばコラボ大賞表彰式で受賞団体に賞状を授与しました。



特別賞(株式会社千葉日報社)



特別賞(株式会社千葉銀行)

第15回 ちばコラボ大賞表彰式 及び事例発表・交流会

令和7年12月15日(月)にホテルプラザ菜の花で表彰式及び事例発表・交流会を開催しました。表彰式では、高梨副知事から「受賞事例は、いずれも多様な主体が連携し、地域への愛着やつながりを育てながら地域の課題解決にあたっており、このような素晴らしい取組をされていることに心から感謝を申し上げます。」とのメッセージがありました。

事例発表・交流会では、受賞団体による事例発表、審査委員長である千葉工業大学・鎌田元弘氏による講評・講演に加え、受賞団体及び参加者による交流会を実施しました。

表彰式



集合写真



賞状授与

事例発表・交流会



事例発表会



交流会

令和8年度の募集も、6月頃から開始する予定です。

その他詳細は、千葉県ホームページ「ちばコラボ大賞」をご覧ください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kkbunka/collabo/index.html>



令和8年3月 編集・発行

千葉県環境生活部県民生活課 〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町1-1
TEL:043-223-4147 FAX:043-221-5858 E-mail:npo-vo@mz.pref.chiba.lg.jp